

写真特集 第75回 磐梯まつり



1_ 磐梯神社で記念撮影する小天狗と巫女。猪苗代中学校の生徒8人が小天狗と巫女に扮し、神事やたいまつ行列に参加した 2_ そろいの法被とねじり鉢巻きで会津磐梯山総おどりに参加した町内の企業。力強いおどりを披露した 3_8_ メイン会場で行われた音楽パレード。町内の小学校や福島県警音楽隊などが参加 (3_ 緑小学校、8_ 吾妻小学校) 4_ 7月15日に執り行われた磐梯山噴火殉難者供養祭

5_ 御神火をたいまつに移して磐梯神社を出発するたいまつランナーの子どもたち。猪苗代T&Fの小学6年生10人と猪苗代アスレチッククラブの4人がランナーを務めた 6_ 磐梯神社で御神火授与祭を執り行った関係者ら 7_ たいまつ行列には5歳から8歳までの子どもたち19人が稚児として参加 9_ フィナーレを飾る会津磐梯山総おどりを盛り上げたおはやし会の三味線。最後にはコンテストでおどりの表彰

第75回磐梯まつりは7月30日、亀ヶ城公園をメイン会場に行われました。児童らの音楽パレードや会津磐梯山総おどりが実施され、4年ぶりの通常開催となりました。

磐梯まつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難した人々を供養することを目的として始まり、五穀豊穡や町民の安寧を祈願する「火の祭り」として継承・発展してきました。

磐梯神社では、御神火授与祭が執り行われ、新たに設けられた「たいまつランナー」が、神聖な御神火をメイン会場まで送り届けました。メイン会場では、御旅所祭が執り行われ、たいまつ行列がスタート。たいまつ行列には、小天狗や巫女に扮した中学生、稚児らが参加し、御神火がかがりび台へと移され、願い事を書いた祈願札が焼納されました。

まつりの最後には、会津磐梯山総おどりが行われ、町内の団体や企業などがそろいの法被や浴衣を着て参加し、会場を盛り上げました。

当日の様子を写真で紹介します。